

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名

わかば

日付 平成 20年 2月18日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験13年

評価調査員 在宅介護経験15年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

「まあ、良く来てくれて、ありがとう」とても人懐っこい利用者に迎えられた。それから、「どこから来られたん?」「私は…」と話は尽きない。見渡すと車椅子を利用している利用者が半数おり、一人ひとりに職員は向き合っている。職員の呼びかけに頷いたり、返事をしたり、心を通わせている。障害のあるがまを受け止めて、その人の生活を大事にしている。個別ケアの実践を見せて貰った。

入浴は機械浴の設備が整っているホームである。重度の利用者もスムーズに入浴できて、何より職員の負担が軽減できる。職員の配置も偏らなくて良い。

運営推進会議を開催して、地域との交流が進んでいる。地域の集まりに利用者と一緒に参加をして楽しんだり、ホームに来てもらって祭りを楽しんでいる。認知症の人の尊厳を尊重するのも傷つけるのも、介護者や地域社会の人達が決めているように思う。地域住民との日常のお付き合いに発展できるように願っている。

4年間の外部評価を通じてこのホームの変遷を見ると次のようなことを感じた。

管理者は、他のホームの立ち上げ全てに貢献して、運営面においても統括管理者の立場で医院の院長(理事長)と共に福祉介護の道をこの地域に根付かせた。

利用者が安心して生活できるホームづくりをこのホームを通して実践してきた。そして“わかば祭り”を主催し、過去3回の開催を通して、地域との関わり、地域へのホームのあり方、認知症ケアについて啓蒙に貢献してきた。

現在は“寿祭”として5つのグループホームで開催し、利用者 地域 職員が一体となって利用者の個別ケア及び利用者の能力の引き出しに傾注したケアのあり方と地域との交流に発展させ、グループホームのあり方の基盤をつくり上げてきた。

特に改善の余地があると思われる点

運営推進会議に出来たら消防関係者に出席していただいて、何か職業的に気がつく事があれば教えてもらったり、参考にしたり出来たら良いと思う。このホームは2階にあり、車椅子利用者が多く家族も職員も安心できるような体制と措置方法を常に検討しておいてもらいたい。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…：理念を一つひとつ具体的行動に実現していくよう、毎年計画を定めて努力しているので、要改善項目はない。</p> <p>2. 全体的に見て…：「尊厳 選択の自由 個別ケア」の理念が掲示してある。利用者がその人らしく生活することを支えるケア、そして笑顔で暮らせるようにしたいと開設以来管理者・職員は目標にしている。体が硬直や寝たきりの重症の利用者でも、アイコンタクトと声でまだコミュニケーションが取れる。話しかけて口元がかすかに動いて心が通じると、利用者がとてもいとおしく感じられると管理者は話している。職員も働き甲斐を実感している。関わるといことは、やりたいことを作っていくことになるのだろう。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…：既に広い生活空間があり、利用者は十分に活用して生活しているので、要改善事項はない。</p> <p>2. 全体的に見て…：広いリビングルームで居室までの廊下が長いので、車椅子を動かしたり、手すりに沿って歩いたり、歩く訓練をして利用者が活動し易くなるようにしてある。同じテーブルの利用者同士でお互いの悩みや境遇を話したり聞いたりして、互いに認め合い生活しようという助け合いの気持ちが展開している。壁には行事の写真が引き伸ばして貼ってあり、話の種には事欠かない。利用者は忘れていても自分の写真を見て、「あらっ」「あれっ」にっこり笑顔、ゆっくり思い出しているのかな？ キッチンでのご飯の炊ける匂い、カラオケなど、五感を意識的に取り入れるようにしている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人のできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…：ケアのあり方、進め方は具体的に定めているので、一つひとつの業務の改良にして、ケアの質の向上に努めているので特に改善事項はない。</p> <p>2. 全体的に見て…：お盆を拭いたり、テーブルを拭いたり、お絞りを拭いたりして利用者の顔は生き生きとした表情をしている。利用者の体調に配慮をしながらやりたいことを、やれることをやって貰っている。6月には梅干つくりをしている写真を見せて貰った。「昔はよかったなあ」利用者は思い出しながら、逆に職員は利用者から教えて貰いながら梅干つくりをしている微笑ましい写真が、経験や知恵を最大限生かして自分らしく暮らしていることを物語っている。さりげない声かけや対応にも配慮しており、個人情報の漏洩についても秘密保持の徹底が図られている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…：現在の運営体制を更に充実させていく事に全力を注いで、サービス向上に努めている。</p> <p>2. 全体的に見て…：医療法人の系列施設で医療・介護・地域の福祉に貢献している。デイサービス・3グループホームが同じ敷地内にあるので管理者同士もよく話し合いは出来ているようだ。開設4周年を記念して地域住民を招待して“寿祭”を開催した。食べたり飲んだり、ボランティアによる演芸もあり、予想外に沢山の方々の来訪で、慌てて食材を買いに走ったりのハプニングもあったそうだが、楽しいひと時を過ごしたようだ。地域の集まりである「ふれあいサロン」に利用者も参加して、地域とホームとの関わり方の話し合いも持つ事が出来て、運営推進会議を活かした取組みをしている。3グループホームがまとまって家族の協力も得て検討事項の一つずつ積み上げていって、この地域の模範となってほしい。</p>		